

砂丘をもっと豊かな滞在の場に！

活用イメージを具体化する

▶ 理想とする鳥取砂丘へ！

vol. **3**

東西のつながりや施設のイメージがより一層具体的に

第3回目の上質化ワーキンググループ会議（以下、WG会議）が11月14日午後に行われ、行政や事業者の方々合わせて9名が参加されました。今回は、第2回のテーブルワークや意見交換を基に、東西をつなぐ二次交通の考え方や施設の利用方法・改修の方向性、鳥取砂丘エリアの東西両地区それぞれをイメージづける建物や屋外



広告物に使用する色彩等について具体的な提案がされました。これまで意見交換を重ねてきた活用イメージが徐々に具体化し、整備の方向性が明らかになってきたことから、予定していた時間を越えるほどの熱を帯びた議論になりました。

西側エリアのホテル誘致計画に関する経過報告がありました

WG会議の冒頭、鳥取市観光・ジオパーク推進課から、10月25日付で公告された「鳥取砂丘西側市有地活用促進事業」プロポーザルに複数の企業から参加申し込みがあったことや、企業説明会では上質化WGニュース等を配布して、鳥取砂丘未来会議の取組を踏まえたホテル事業展開の提案を促した旨の説明がありました。今後は、上質化事業と合わせて西側エリアへの注目がますます高まりそうです。

サイクリングターミナルと西側ビジターセンターを集中議論

第2回WG会議を受け、東西をつなぐ2次交通や鳥取砂丘エリアで使用する色彩、西側の利用拠点の具体的な利用イメージ等について議論を進めました。その中でも、西側の利用拠点として想定するサイクリングターミナルと西側ビジターセンターの求められる機能や周辺の動線計画、眺望の捉え方等について集中的な議論が行われました。



整備イメージの図面を使用して説明しました



整備イメージについて様々な意見が出されました

意見交換の内容

■東西をつなぐ2次交通と移動ネットワーク

第3回WG会議では、東西のつながりに関する意見がありました。そこで、らっきょう栽培のような生業を感じる文化的景観地や農村地・植林地等を楽しみながら東西エリアを移動する E-Bike 等の二次交通やそれに付随するレンタルスポット、探索を楽しむトレッキングルート、砂丘の出入口からの歩行ルートについて意見交換を行いました。歩行や自転車等で東西をネットワークのように結びつけ、様々な自然の姿を見せていく移動ネットワークを想定し、その中で上質化事業の対象になるポイントを考えていく必要があります。

■鳥取砂丘東西エリアのイメージカラー

上質化事業を進める中では、東西両地区の建物や屋外広告物に使用する色彩を定め、まちなみの統一感を図ることが大切です。そこで、ジオパークの砂層や砂丘の代表的な植物等を測色し、鳥取砂丘エリアにふさわしいと思われる色彩を検討し提案しました。

■西側エリアやサイクリングターミナルの将来像

前回のワークショップの意見や施設管理者である行政の意見を整理し、サイクリングターミナルが利用拠点となった場合に、施設とその周辺空間をどのように再構築したらいいかについて意見交換しました。また、西側ビジターセンターについても施設前の砂丘の活用や動線について話し合いました。

次回の会議の内容

いよいよ最終回となる次回は、上質化事業のベースとなる利用拠点計画の素案を見ながら、整備コンセプトや整備メニューの最終確認を行う予定です。

参加者が提案し、計画をつくり上げる場になってゆきます！

次回第4回会議開催のご案内

日時 12月17日(火)
13:00～15:00
場所 鳥取砂丘ビジターセンター
上質化事業に関心のある事業者の方お待ちします。オブザーバー参加を希望する方を歓迎します。

問合せ・参加申込み先

鳥取市観光経済部
観光・ジオパーク推進課
TEL: 0857-30-8293
FAX: 0857-20-3947
E-mail: kankou@city.tottori.lg.jp
担当: 米澤、谷島まで